

Hisense[®]

2.1ch シアターサウンドシステム

取扱説明書

HS214

お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになった後は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

目次

安全上のご注意	3
警告 (電源コード・プラグ).....	4
警告 (使用).....	5
警告 (電池).....	5
警告 (移動、設置).....	6
注意.....	7
注意 (電池).....	7
注意 (廃棄).....	8
ライセンスおよび商標などについて	8
使用上のご注意・お手入れについて	9
付属品を確認する	10
各部の名前や役割	11
本体.....	11
リモコン.....	12
設置と取り付け	14
電源に接続する	14
外部デバイスとの接続方法	15
HDMI ARC 端子で接続する	15
AUX 端子で接続する.....	15
光デジタル端子で接続する.....	15
同軸デジタル端子で接続する.....	16
基本操作	16
スタンバイ/オン	16
自動起動	16
自動起動の起動方法.....	16
音量を調整する.....	16
自動スタンバイ機能	17
入力を切り替える	17
サラウンドモードを選択	17
サラウンドをオンにする	17
重低音の音量を調整する	17
LEDランプの明るさを調整する	17
IRリピーターをオフにする	17
HDMI ARC/AUX/光デジタル/同軸デジタルでの操作	18
Bluetoothでの操作	18
Bluetooth対応デバイスとペアリングする	18
Bluetooth接続をオフにする	19
Bluetooth対応デバイスから音楽を聴く	19

目次

<u>USB入力での操作</u>	19
<u>故障かな?!と思ったら</u>	20
<u>主な仕様</u>	21
<u>保証とアフターサービス</u>	22

安全上のご注意

ご使用前に本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。

内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。



警告 この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故が起こる可能性があります。



注意 この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。

図記号の意味
(例)



気をつけていただきたいという記号です。



してはいけないという記号です。



していただきたいという記号です。

安全上のご注意（つづき）



警告（電源コード・プラグ）



コンセントや配線機器の定格を超える
使いかたや、交流100V-240V
(50/60Hz)以外では使用しない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の原因となります。海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、
ねじったり、引っ張ったり、無理に曲
げたり、加熱したりしない

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因になります。



電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでみゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になることがあります。電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



電源プラグをつなぐのは、他機器との
接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続すると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源コードを本機につないでから電源プラグを壁のコンセントに差ししてください。



電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因になります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になることがあります。



ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になることがあります。



電源コードに重いものを載せたり、
本機の下敷きにしたりしない

火災・感電の原因になります。



他の電源コードを本製品に使用したり、付
属の電源コードを他の商品に使用しない

火災・感電・ショートの原因になります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れ
ない

感電の原因になります。



運搬/移動するときは接続されている
線などをすべて外す

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

安全上のご注意（つづき）



警告（使用）



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。



煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をお買い上げ店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。



本機を落としたり、強い衝撃を与えない

火災・感電・故障の原因になります。



本機の開口部分に手や指を入れない

けがの原因になります。



内部に水や異物を入れない 本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因になります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理をお買い上げ店に依頼してください。



長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く

火災・ショートの原因になります。



大きな音量で長時間使用しない

聴覚障害の原因になります。



本機の開口部分に金属片や紙片などの異物を入れない

火災・感電・故障の原因になります。



警告（電池）



電池を火の中に入れてはいけない。ショートさせたり、分解、加熱、充電しない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）



警告（移動、設置）



使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。



壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者に取付けてもらう

専門業者以外の方が取り付けたり、取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大げがの原因になることがあります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因になります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。



水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用は特にご注意ください。



本機を医療機器の近くに設置しない

医療機器の誤動作の原因になることがあります。



湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、ホットカーペットの上や熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉の脱衣場などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。



屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。



心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15cm以内で使用しない

本機の発する電波により、ペースメーカーや除細動器の動作に影響をおよぼす原因になります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- ・ 逆さまにしない。
- ・ 棚や押入の中に置かない。
- ・ 布をかけない。

安全上のご注意（つづき）



注意

- ❗ お手入れのときや、旅行などで長期間で使用にならないときは、電源プラグを抜く

お手入れのときや、本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機はスタンバイにただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

- ⊘ 電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

- ❗ 人が通行するような場所に置かない・コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするようなおそれのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

- ❗ 電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- ⊘ たこ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。

- ⊘ 重いものを置いたり、上に乗ったりしない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

- ⊘ 風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



注意（電池）

- ❗ 指定された種類の電池を使用する

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ⊘ 電池は幼児の手の届くところに置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

- ⊘ 電池の液がもれたときは素手でさわらない

・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起す恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

- ⚠ 廃棄するときは

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意（廃棄）



一般の廃棄物と一緒にしない

一般の廃棄物と一緒にしないでください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を
捨てないでください。



地域・自治体の条例または規則に従っ
て廃棄する

ライセンスおよび商標などについて



Dolby Laboratoriesからの実施権に基づき製造
されています。Dolby、Dolby Audioおよびダ
ブルD記号は、Dolby Laboratoriesの登録商
標です。



Hisense International Co., Ltd. は、
サブウーファ内蔵 2.1ch シアターサウンドシステムが
指令 2014/53/EU に準拠していることを宣言します。



本製品を正しく廃棄してください。本製品にこのマー
クがある場合、EU地域で当製品をお客様の家庭廃棄物
と一緒に廃棄することはできません。規制に従わない
廃棄物による環境または身体への悪影響を防ぐため、
マークが付いた製品は他の種類のごみと分別し、リサ
イクルして材料資源の再利用に貢献してください。使用
済みデバイスを返却するには、返品および回収シス
テムを使用するか、購入先の販売店にお問い合わせく
ださい。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、
Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。



HDMI は、米国およびその他の国におけるHDMI
Licensing, LLC の商標または登録商標です。

欧州 - 欧州連合通知

CE 警告マークが付いた無線機器製品は、欧州共
同体委員会が発行した RED 指令（2014/53/
EU）に準拠しています。

周波数域：2402-2480MHz

重要な要件の遵守に影響を与えるソフトウェアま
たはファームウェアのバージョン：

HW：HS214-01-AOF

製品の最大RF出力：+ 9dBm

一緒に販売される付属品/部品：リモコン

使用上のご注意・お手入れについて

■ 本製品使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙の弊社営業所にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など（たとえばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の弊社営業所までお問い合わせください。

■ 機器認定について

本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上のご注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解/改造すること
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと

(Bluetooth)

2.4 FH 1

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備

「FH」：変調方式は周波数ホッピング（FH-SS方式）

「1」：想定干渉距離が10 m以内

■■■■ ■■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

■ 通信可能距離

見通し距離約 10 m 以内で通信してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合、または周囲の環境により、通信可能距離は短くなります。

■ 他の機器からの影響

● 磁場・静電気・電波障害の発生する場所では通信しないでください。また以下の機器の付近で通信すると、通信が途切れたり、速度が遅くなる場合があります。

- ・ 電子レンジ
- ・ デジタルコードレス電話機
- ・ その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
- ・ 電波が反射しやすい金属物の近くなど

■ 外装のお手入れについて

- ・ 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- ・ アルコールやベンジン、シンナーを使用すると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- ・ 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。

■ 電磁波妨害に注意してください

- ・ 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起ころ、雑音が発生したりすることがあります。

■ 国外では使用できません

- ・ この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

■ 取り扱い上のご注意

- ・ 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

■ 使用環境について

- ・ 周辺温度は 0～35℃ の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

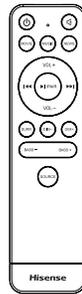
■ リモコンの取り扱いについて

- ・ 落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- ・ 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

付属品を確認する



シアターサウンドシステム本体



リモコン



リモコン用単4形乾電池 × 2本



取扱説明書



HDMIケーブル



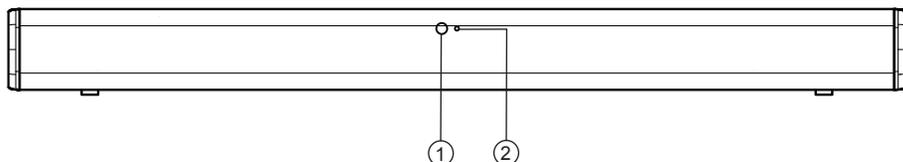
AC電源ケーブル

- 製品のデザインと仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

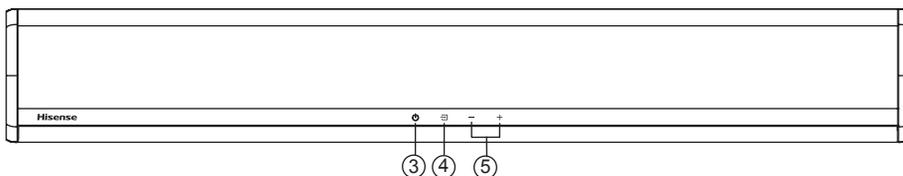
各部の名前や役割

本体

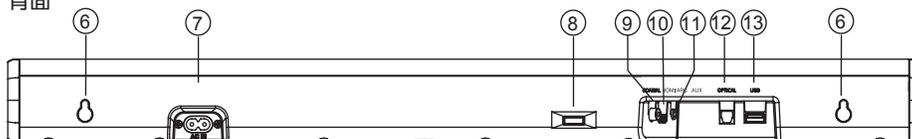
正面



上面

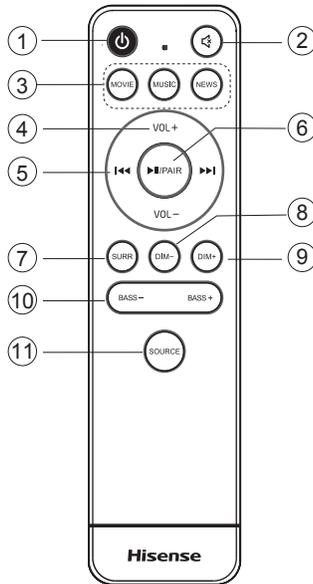


背面



- | | |
|---|--|
| ① リモコン受光部 | リモコンからの信号を受信します。 |
| ② LED ランプ | |
| • 赤色：スタンバイ | • 緑色：AUX 入力 |
| • 白色：HDMI ARC 出力 | • 橙色：光デジタル入力 |
| • 青色：Bluetooth 接続 | • 水色：同軸デジタル入力 |
| • 黄色：USB 入力 | |
| ③  (オン/オフ)ボタン | スタンバイと電源オンの切り替えを行います。 |
| ④  (音声入力切り替え)ボタン | HDMI ARC→Bluetooth→USB→AUX→光デジタル→同軸デジタルの順で音声入力を切り替えます。 |
| ⑤ 音量+/音量- | ボタン音量を上げ/下げします。 |
| ⑥ 壁かけ穴 | 本機の壁かけ穴に同梱の壁かけ穴用ネジを取り付けます。 |
| ⑦ AC入力 | 電源装置に接続します。 |
| ⑧ IR リピータ | リモコンから受信した信号をテレビに転送します。 |
| ⑨ 同軸デジタル端子 | テレビの同軸オーディオ出力に接続します。 |
| ⑩ HDMI ARC 端子 | HDMI ケーブルでテレビに接続します。 |
| ⑪ AUX端子 | 外部オーディオ機器に接続します。 |
| ⑫ 光デジタル端子 | テレビの光オーディオ出力に接続します。 |
| ⑬ USB スロット | USBデバイスを挿入して音楽を再生します。 |

リモコン



- ① **⏻** (オン/オフ) スタンバイと電源オンの切り替えを行います。
- ② **🔇** (ミュート) ミュート (消音) の切り替えを行います。
- ③ **EQ** ボタン MOVIE/MUSIC/NEWSのサウンドモードの切り替えを行います。
- ④ **VOL+ / VOL-** 音量を上げ/下げします。
- ⑤ **I<<, >>I** Bluetooth/USBで再生時に、前後のトラックにスキップします。
- ⑥ **II/PAIR** Bluetooth/USBで再生時に、再生/一時停止します。Bluetooth接続で長押しすると、ペアリング機能が有効になります。すでにペアリングされたデバイスがある場合は、ペアリングされたBluetoothデバイスを取り外します。
- ⑦ **SURR** サラウンドのオン/オフを切り替えます。
- ⑧ **DIM -** LEDランプの明るさを下げます。
- ⑨ **DIM +** LEDランプの明るさを上げます。
- ⑩ **BASS +, BASS -** 重低音の音量を調整します。
- ⑪ **SOURCE** 音声入力を切り替えます。

リモコンを準備する

付属のリモコンで本機を離れた場所から操作できます。

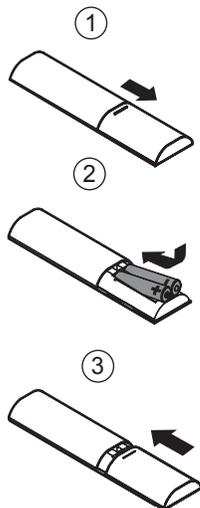
- リモコンの操作有効距離は8mです。また、有効距離の範囲内であっても、本機とリモコン間に障害物があると、リモコン操作が中断される場合があります。
- 赤外線を放射する他の製品の近くでリモコンを操作する場合、または本機の近くで赤外線を利用する他のリモコンデバイスを使用する場合は、リモコンが正常に動作しない可能性があります。また、他の製品が正しく動作しない場合があります。

初めて使用する時：

2本の単4形乾電池（付属）をリモコンに入れてから使用します。

電池の交換方法：

- ① リモコン背面にある電池カバーを外します。
- ② 古い電池を取り出します。新しい単4形乾電池を2本、正しい極性(+/-)で電池カバーに入れます。
- ③ 電池カバーをリモコンに戻します。



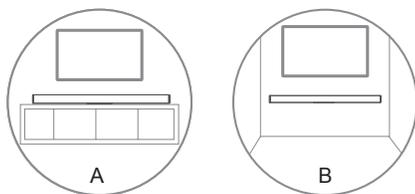
電池に関する注意事項

- リモコンを長時間使用しない場合（1ヶ月以上）、液漏れしないように、リモコンから電池を取り外します。
- 電池が液漏れした場合は、電池容器内の漏れを拭き取り、新しい電池に交換してください。
- 指定された電池以外は使用しないでください。
- 電池を加熱または分解しないでください。
- 熱や湿気を避けてください。
- 他の金属物と一緒に電池を運んだり、保管したりしないでください。それにより、電池が短絡、液漏れ、爆発する可能性があります。
- 充電式の電池でない限り、電池を充電しないでください。

設置と取り付け

設置

- A テーブル上に設置する場合は、テレビ画面の中心に合わせて本機を置いてください。
- B 壁掛けにする場合は、テレビ画面の中心に合わせて、真下の壁に本機を取り付けてください。



壁掛け (Bを使用している場合)

- 本機は壁に水平に取り付けてください。
- 販売店や工事店などに依頼し、安全性を十分に考慮して取り付けてください。
- 壁の材質や強度に合った市販のネジをご用意ください。
- 壁の材質や状態によっては壁が破損する可能性があります。
- 取り付けの不備や強度不足、誤使用、天災による事故、損傷につきましては、当社は一切責任を負いません。

1. 壁掛け用に使用する市販のネジを用意する。石膏ボードの場合、間柱等の下地にネジを打つか石膏ボード用アンカーを使用してください。

2. 本機を取り付けるためのネジの位置を決める。

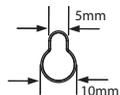
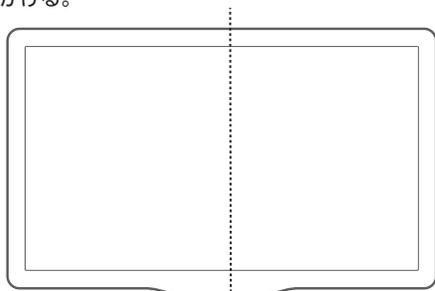
ネジの高さはテレビ本体の上端もしくは下端から45mm以上離してください。

※近すぎるとテレビ本体と被って設置できない可能性があります。

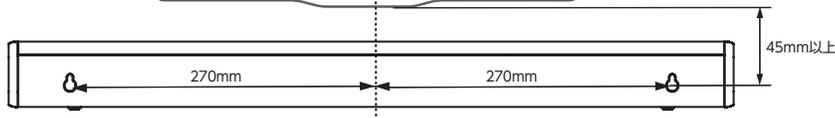
3. テレビの中心から左右に270mmの部分で、先ほど決めた高さで交差する所にネジをとめる。

※ネジは完全に締め込まずに、ネジ頭を壁から5-6mm飛び出すようにとめてください。

4. 本機背面の穴をネジにかける。



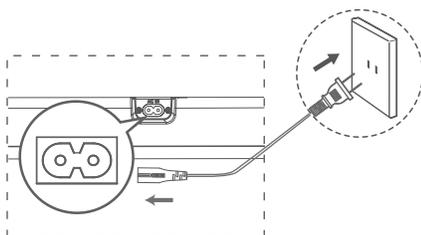
本機背面の壁掛け用穴



電源に接続する

本製品が損傷する恐れがあります！

- ご使用になる電源電圧と本機の電圧 (100V-240V) が一致していることを確認してください。
- AC電源ケーブルを接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。
- 電源ケーブルを本機のAC端子に接続してから、コンセントに接続します。

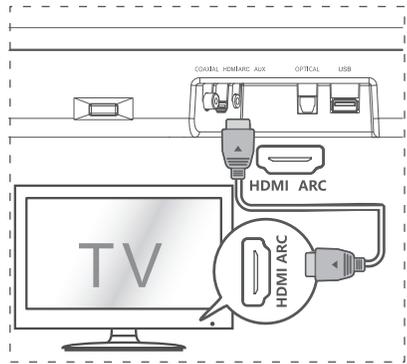


外部デバイスとの接続方法

HDMI ARC端子で接続する

シアターサウンドシステムは、オーディオリターンチャンネル（ARC）と HDMI をサポートしています。HDMI ARC 対応のテレビの場合は、1本のHDMIケーブルを使用してシアターサウンドシステムからテレビの音声を聞くことができます。

- 1 HDMIケーブルを使用して、シアターサウンドシステムの HDMI ARC とテレビの HDMI ARC 端子を接続します。
- テレビのHDMI ARC端子の表示名称は異なる場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 2 テレビで、HDMI-CEC の操作をオンにします。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

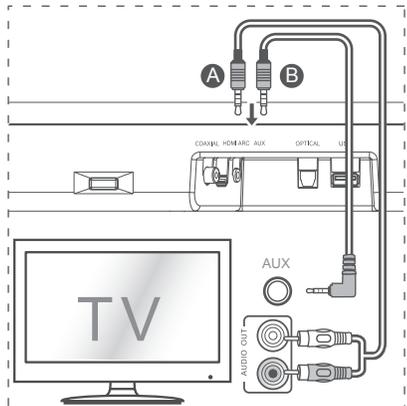


ヒント：

- お使いのテレビはHDMI-CECおよびARC機能をサポートしている必要があります。HDMI-CECとARCはオンに設定する必要があります。
- HDMI-CECとARCの設定方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- HDMI 1.4 ケーブルのみで ARC 機能をサポートします。

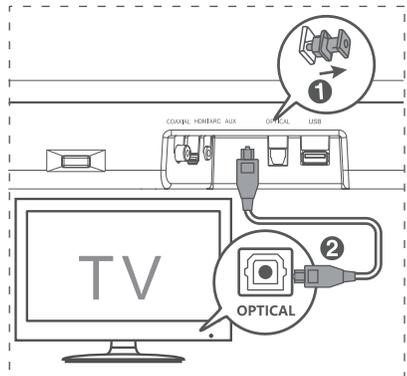
AUX 端子で接続する

- A RCA～3.5mm オーディオケーブル（別売）を使用して、テレビのオーディオ出力端子と本機のAUX端子を接続します。
- B 3.5mm～3.5mm のオーディオケーブル（別売）を使用して、テレビまたは外部デバイスのAux端子を本機のAux端子に接続します。



光デジタル端子で接続する

- 光デジタル端子から保護キャップを取り外して光デジタルケーブル（別売り）をテレビの光デジタル端子と本機の光デジタル端子に接続します。

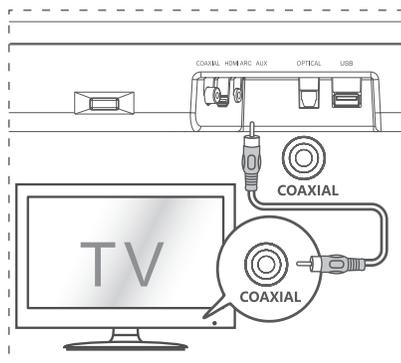


同軸デジタル端子で接続する

- 同軸ケーブル（別売り）を使用して、テレビの同軸デジタル端子と本機と同軸デジタル端子を接続できます。

ヒント：

- OPTICAL、HDMI、ARCまたはCOAXIAL入力になっている間、本機から音声が出力されない場合は、お使いの外部デバイス（例：テレビ、DVDまたはブルーレイプレーヤー）でPCM信号出力を有効にする必要がある場合があります。



基本操作

スタンバイ/オン

AC電源ケーブルを使って、本機をコンセントに接続すると、本機がスタンバイ状態になります。

- 本機またはリモコンの **⏻** ボタンを押すと、本機の電源がオンになります。
- もう一度 **⏻** ボタンを押すと、スタンバイ状態に戻ります。
- 本機の電源を完全に切るには、AC電源ケーブルをコンセントから外します。

自動起動

- 本機にテレビや外部デバイスが接続されている場合（HDMI ARC / AUX / 光デジタル / 同軸デジタル）、テレビまたは外部デバイスの電源が入ると、本機は自動的に電源がオンになります。

自動起動の起動方法

- 本機の **⏻** ボタンと+ボタンを短く同時に押して、自動起動機能を有効または無効にします。
- 自動起動機能オン：白と緑のLEDランプがそれぞれ2回連続で点滅します。
- 自動起動機能オフ：白と赤のLEDランプがそれぞれ2回連続で点滅します。

音量を調整する

本機の +/-、またはリモコンの VOL+ / VOL- を押して、音量を調整します。

ミュート（消音）にするには、リモコンの **🔇** ボタンを押します。もう一度 **🔇** ボタンを押すか、本機の手前 +/- ボタンまたはリモコンの VOL+ / VOL- ボタンを押して、ミュート（消音）を解除します。

注記：音量を調整すると、LEDランプは1回点滅します。音量が最大値/最小値レベルに達すると、LEDランプは連続で3回に点滅します。

自動スタンバイ機能

テレビまたは外部デバイスが接続解除または電源がオフになっている場合、本機は約15分後に自動的にスタンバイ状態に切り替わります。

・本機の電源を完全に切るには、AC電源ケーブルをコンセントから取り外します。

入力を切り替える

本機の **⏮** (音声入力切り替え) ボタンまたはリモコンの **⏮** (音声入力切り替え) ボタンを繰り返し押しして選択します。

本機前面のLEDランプは、現在使用されているモードの色を表示します。(参照：11ページ/各部の名前や役割/2 LEDランプ)。

サウンドモードを選択

リモコンの NEWS / MOVIE / MUSIC ボタンを押して、サウンドモードを選択します。

MOVIE (映画鑑賞におすすめ)

MUSIC (音楽鑑賞におすすめ)

NEWS (ニュースを聞くのにおすすめ)

サラウンドをオンにする

リモコンの SURR ボタンを押して、サラウンドのオン/オフを切り替えます。オンにした時は、LEDランプは素早く3回点滅します。オフにした時は、LEDランプはゆっくり3回点滅します。また、オンの状態では設定しているサウンドモードによって効果が異なります。

MOVIE：アウトスクリーンサラウンド

MUSIC：ピュアサラウンド

NEWS：クリアサラウンド

重低音の音量を調整する

リモコンの BASS+/BASS - ボタンを押し、重低音の音量を調整します。音量は11段階で設定できます。調整された時にLEDランプは1回点滅します。上限もしくは下限になった時は、LEDランプは素早く3回点滅します。

LEDランプの明るさを調整する

リモコンの DIM+/DIM - ボタンを押し、LEDランプの明るさを調整します。明るさは4段階で調整できます。一番暗く設定した時、LEDランプは点灯しません。

IRリピーターをオフにする

本機の **⏮** ボタンまたはリモコンのSOURCEボタンを押して、AUX入力 (LEDランプ：緑色) に切り替えます。リモコンの **▶▶** ボタンを2回押してから、続けて **◀◀** ボタンを2回押します。オンにした時は、LEDランプが素早く5回点滅します。オフにした時は、LEDランプはゆっくり5回点滅します。

HDMI ARC/AUX/光デジタル/同軸デジタル入出力での操作

- 1 本機がテレビまたは外部デバイスに接続されていることを確認してください。
- 2 本機の **☒** ボタンを繰り返し押すか、リモコンのSOURCEボタンを押して、OPTICAL、COAXIAL、HDMI ARC、AUXモードを選択します。
- 3 本機の **+ / -** ボタンを押すか、リモコンのVOL+ / VOL- を押して、希望の音量に調整します。

ヒント：

- 本機から音声が出力されない場合は、お使いの外部デバイス（例：テレビ、DVDまたはブルーレイプレーヤー）で PCM 信号出力を有効にする必要がある場合があります。
- 本機がサポートしていないデジタルオーディオの場合、LED ランプは紫色で 3 回点滅します。

Bluetooth接続での操作

Bluetooth対応デバイスとペアリングする

Bluetooth 対応デバイスを初めて本機に接続するときは、その外部デバイスを本機にペアリングする必要があります。

ヒント：

- 本機と Bluetooth 対応デバイスの間の操作可能な範囲は約 8m です (Bluetooth 対応デバイスと本機の間には障害物がない場合)。
 - Bluetooth対応デバイスを本機に接続する前に、外部デバイスでBluetoothがオンになっているか確認してください。
 - すべてのBluetooth対応デバイスとの互換性は保証されていません。
 - 本機とBluetooth対応デバイスの間には障害物があると、動作範囲が狭くなることがあります。
 - 電波強度が弱いと、Bluetoothレシーバーが切断されることがありますが、自動的にペアリングモードに戻ります。
1. 本機の **☒** ボタンまたはリモコンのSOURCEボタンを押して、Bluetooth接続 (LEDランプ：青色) に切り替えます。しばらくするとサウンドと共にLEDランプが青と赤を交互に点滅し、ペアリングモードに切り替わります。
 2. 外部デバイスでBluetoothを有効にし、デバイスの検出を行います。Hisense HS214が
お使いの外部デバイスの検出リストに表示されます。
・本機が見つからない場合は、リモコンの **▶■/PAIR** ボタンを長押しし、もう一度ペアリングモードに切り替えます。
 3. 検出リストでHisense HS214を選択します。正常に接続された場合は、本機からサウンドが流れ、LEDランプが点灯します。
 4. 接続されている外部デバイスからBluetoothで音楽等を再生します。

ヒント：

- もし本機に接続する時にパスワードを要求された場合は、パスワードに「0000」と入力します。
- 2分以内に本機と他の Bluetooth 対応デバイスとのペアリングがない場合、本機は以前の接続に戻ります。
- Bluetooth 対応デバイスが操作可能な範囲を超えて移動すると、本機とのペアリングが切断されます。
- お使いの Bluetooth 対応デバイスをお使いの本機に再び接続するには、操作可能な範囲に置き、本機の入力を Bluetooth に切り替えると自動で再接続されます。

Bluetooth接続をオフにする

- 本機の入力を切り替えます。
- お使いの Bluetooth 対応デバイスから Bluetooth をオフにします。サウンドが流れ、Bluetooth 対応デバイスは本機から切断されます。
- リモコンの ►||/PAIR ボタンを長押しします。

Bluetooth対応デバイスから音楽を聴く

接続した Bluetooth 対応デバイスが Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) をサポートしている場合は、本機から Bluetooth 対応デバイスに保存されている音楽を聴くことができます。

Bluetooth 対応デバイスが Audio Video Remote Control Profile (AVRCP) にもサポートしている場合は、本機のリモコンを使用して Bluetooth 対応デバイスに保存されている音楽再生をコントロールすることができます。

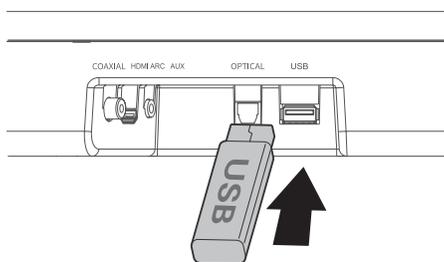
- 1 Bluetooth 対応デバイスをお使いの本機とペアリングします。
 - 2 お使いの Bluetooth 対応デバイスで音楽を再生します (A2DP がサポートされている場合)。
 - 3 付属のリモコンを使用して再生を制御します (AVRCP がサポートされている場合)。
- 再生を一時停止/再開するには、リモコンの ►||/PAIR ボタンを押します。
 - トラックにスキップするには、リモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押します。

USB入力での操作

- 1 USB デバイスを挿入します。
- 2 本機の 冂 ボタンまたはリモコンの SOURCE ボタンを繰り返し押し、USB 入力 (LED ランプ：黄色) を選択します。
- 3 再生中：
 - 再生/一時停止するには、リモコンの ►||/PAIR ボタンを押します。
 - 前/次のファイルにスキップするには、リモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押します。

ヒント：

- 本機は最大 64GB のメモリを搭載した USB デバイスをサポートできます。



- 本機は MP3 を再生することができます。
- 本機は WAV/WMA/FLAC をサポートしています。
- 本機は FAT32 をサポートしています。
- USB アプリケーション用の Embedded USB フルスピード ホストは、6.5 Mbps を超えないようにします。
- FLAC 形式のファイルの場合、最大ブロック サイズ 8107/8109 は最大 4608 をサポートしません。

故障かな?!と思ったら

ご使用中に異常が生じたときは、つぎの点をお調べください。それでも正常に戻らないときは、ただちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご連絡ください。

こんなとき	お調べいただくこと／なおしかた
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● AC電源ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 ● リモコンまたはバースピーカーの  ボタンを押して、シアターサウンドシステムをオンにしてください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を上げてください。リモコンの VOL+ を押すか、本機の + を押してください。 ● リモコンの  を押して、ホーム シアターサウンドシステムがミュート（消音）されていないことを確認してください。 ●  ボタンを押して、別の入力を選択してください。 ● デジタル音声出力設定「オート」で音が出ない場合： <ul style="list-style-type: none"> ・ TV 出力が PCM に設定されているか確認してください。PCM に設定されていない場合は、PCM に設定してください。 ● お使いのテレビが可変音声出力に設定されている可能性があります。音声出力設定が VARIABLE ではなく FIXED または STANDARD に設定されていることを確認してください。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。 ● Bluetooth[®]を使用している場合は、接続しているBluetooth対応デバイスの音量を調整して、ミュート（消音）になっていないことを確認してください。
リモコンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生ボタンを押す前に、まず正しい入力を選択してください。 ● リモコンと本機の距離を短くします。 ● 電池は2本とも「+」、「-」の極性表示通りに正しく挿入してください。 ● 電池を交換してください。 ● リモコンを本体前面のセンサーに向けて、リモコンと本機の間には障害物がないことを確認します。
ブザー音が聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> ● すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。 ● 別の入力機器（テレビ、ブルーレイレコーダーなど）を接続して、ブザー音が解消されるかどうか確認してください。解消される場合は、元の機器に問題がある可能性があります。
Bluetooth [®] 機器で本機のBluetooth [®] 名が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ● Bluetooth[®]機能がBluetooth[®]機器で有効になっていることを確認してください。 ● 本機とBluetooth[®]機器を再ペアリングしてみてください。

主な仕様

カテゴリ		シアターサウンドシステム	
型番		HS214	
スピーカーレイアウト	スピーカー構造	2.1ch (ウーファー内蔵)	
スピーカーユニット	スピーカーユニット数	3	
	エンクロージャータイプ	バスレフ方式	
	ユニットサイズ	Full range : 44mm×100mm×2個 Woofer : 78mm×1個	
スピーカーグリル	振動板素材	紙	
	グリルタイプ	固定	
入出力	HDMI	グリル素材	パンチングメタル
		入力端子数/出力端子数	0/1 (ARC)
		HDMI運動	対応
		HDMI CEC運動	対応
		4K Ultra HD バススルー	-
	HDR伝送	-	
	光デジタル	対応	
	USB	対応	
	Bluetooth	ver.4.2/A2DP, AVRCP	
	同軸デジタル	対応	
AUX	対応		
再生フォーマット	HDMI ARC	Dolby Digital/LPCM 2ch/ LPCM fs : 44.1, 48, 88.2, 176.4, 192 KHz/24bit	
	光デジタル入力	Dolby Digital/LPCM 2ch/ LPCM fs : 44.1, 48, 88.2, 176.4, 192 KHz/24bit	
	同軸	Dolby Digital/LPCM 2ch/ LPCM fs : 44.1, 48, 88.2, 176.4, 192 KHz/24bit	
	USB	MP3/WMA/WAV/FLAC MP3:sample rate:8'48KHZ, Bit rate:≤448kbps WMA:sample rate:8'48KHZ, Bit rate:≤320kbps FLAC:sample rate:32/44.1/48/88.2/96/176.4/19 2KHZ, Bit rate:≤6.5Mbps WAV:sample rate:44.1/48/88.2/96/176.4/192KH Z, Bit rate:≤6.5Mbps	
	Bluetooth	SBC	
アンプ	デジタルアンプ	対応	
実力最大出力 (JEITA)	実用最大出力合計値 (非同時駆動/JEITA)	108W	
	フロント	27W+27W	
	ウーファー	54W	
サウンド機能	サウンドモード	Movie/Music/News	
	消音	対応	
	サラウンドON/OFF	対応	
	BASS調整	対応	
電源	AC	AC	
	電源	AC100V~240V	
	電源周波数	50/60Hz	
消費電力	消費電力	20W	
	待機電力	0.5W	
付属品		リモコン/単4形乾電池×2/ AC (電源) ケーブル/取扱説明書 /HDMIケーブル	
寸法 (幅×高さ×奥行き) (mm)	バースピーカー	650×61.5×95	
重量 (kg)	バースピーカー	2.14	

保証とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではご利用いただけません。

This theater sound system is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

保証書について

本機には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、販売店よりお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

本体の保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」をご参照いただき、故障かどうかお調べください。

それでも具合が悪いときは

弊社サポートセンターへお問い合わせください。

● 電話によるお問い合わせ

受付時間: 9:00~18:00

フリーダイヤル: 0120-835-111

● FAXによるお問い合わせ

FAX 番号:0570-061-117(有料)

※ お客様のご連絡先、型番、購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

● メールによるお問い合わせ

電子メールでのお問い合わせは <https://www.hisense.co.jp/contact/> のお問い合わせのページで受け付けています。お客様のご連絡先、型番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

※ サポート受付に関しては変更させていただく場合がございます。

弊社ホームページでサポート時間などをご確認の上、ご利用されるようお願いいたします。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間 8年

この商品の補修用性能部品は、製造元が製造打ち切り後8年保有しています。注) 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

Hisense[®] ハイセンス

サポートセンター

フリーダイヤル： 0120-835-111

受付時間： 365日 9:00～18:00

FAX： 0570-061-117(有料)

メール：<https://www.hisense.co.jp/contact/>

ハイセンスジャパン株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号

<http://www.hisense.co.jp>

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。

© Hisense Japan Corporation